

単元名：短歌を鑑賞する

短歌を鑑賞しよう・短歌を味わおう

(全6時間扱い中 第3時)

授業日時 令和3年7月9日(金)第3校時

授業学級 2年C組

授業会場 2年C組教室

授業者

指導者

(1) ねらい

短歌を鑑賞する視点として、擬態語・擬音語の表現の効果について解釈することができる。

(2) 授業のポイント

- ・場面：「死に近き～」の短歌の四角部分にはどのようなオノマトペが入るのかを考える。
- ・活動：選んだオノマトペがこの短歌の他の部分に与える効果を説明する。

(3) 展開

過程	活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材	時間
導入	1. 四角部分にどのようなオノマトペが入りそうか考える。	◇「死に近き～」の短歌を提示し、四角部分にはどんな言葉が入るのかパワーポイントで候補を提示し、予想してもらおう。(★ワークシート) ◇四角部分に入る単語には制限があることを伝える。	10
	【学習問題】四角部分に入るのは、どのオノマトペだろうか。		
	2. それぞれがオノマトペを選んだ理由確認し、追及の見通しを持つ。	○なぜそのオノマトペが入りそうだったのか、理由を発表しましょう。	
【学習課題】選んだオノマトペがこの短歌の他の部分に与える効果を説明しよう。			
展開	3. オノマトペの効果について個人やペアで追求する。	○自分が入りたいオノマトペを1つ決めて、その理由も含めてもう一度じっくり考えてみましょう。 ◇出た考えから、どこにオノマトペが掛かっているか、どのような状況か、どのようなものが登場するかななどを板書で整理する。	20
	4. 学習問題に対して自分の考えを持つ。	◇パワーポイントで「しんしん」を表示する。 ○斎藤茂吉はこの短歌で「しんしん」を入れていますが、みなさんはそれに対してどう感じましたか。 ◇「しんしん」がよいか、他のオノマトペがよいか自分の考えを記入するように促す。 ○今日の学習で、短歌を詠む際に大切にしたい観点は何か。記入しましょう。	15
終末	5. 本時の振り返りを行う。	【評価】短歌を鑑賞する視点として、擬態語・擬音語の表現の効果について解釈している。(観察、ワークシート)	5